



学校だより

〈学校教育目標〉自ら学び たくましく 心豊かな子

横浜市立長津田小学校

7月号【第648号】

令和8年6月29日

副校長 木場幸太郎



「夏に向けて、心と体を整える時期に」

梅雨明けが待たれる頃となり、いよいよ本格的な夏を迎えようとしています。日々の学校生活の中で、子どもたちは学習や行事を通して少しずつ成長を重ねています。

校内で出会ったときに気持ちのよいあいさつを交わす姿や、遠くからでもこちらに気付き、元気に声をかけてくれる様子に、日々嬉しさを感じています。本校に着任して2年目を迎え、子どもたちの成長の積み重なりや学校のよさが一層見えてきました。

7月は夏休みに向けて心と体の準備を整える大切な時期でもあります。学校では、一人一人の成長を大切にしながら、安全で充実した毎日を過ごせるよう取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



関わりの中で育つ子どもたち



学校生活の中では、日々の学習や活動を通して、子どもたちが互いに関わり合いながら成長する姿が多く見られます。自分の考えを友達に伝えたり、相手の意見を受け止めたりする中で、よりよい考えをつくり上げていく経験は、子どもたちにとって大切な学びの一つです。

また、活動の中では、困ったときに声をかけ合ったり、役割を意識して行動したりすることも大切です。時には思いがすれ違うこともあります。そうした経験を通して、相手の立場を考えることや、よりよい関係を築こうとする力が少しずつ育まれています。

こうした日常の積み重ねは、校外学習のように学校を離れた場面でも生かされます。公共の場でのマナーを守ることや、仲間と協力して行動すること、自分たちで考えて動こうとする姿は、日頃の関わりの中で育ってきた力の表れでもあります。

今後も、子どもたち同士の関わりを大切にしながら、一人一人が安心して自分らしさを発揮し、互いに高め合うことができるよう支えてまいります。日々の関わりの中で培われた力が、これからの様々な学びや生活の場で発揮されていくことを期待しています。



校外学習で広がる学び



先日、3年生は横浜見学、4年生は愛川体験学習へと出かけました。校外学習は、教室で学んだことを実際の場で確かめたり、見て・聞いて・体験する中で理解を深めたりする貴重な機会であるとともに、仲間と協力して行動する力や、公共の場でのマナーを身に付ける大切な学びの場でもあります。

3年生は、横浜三塔の見学を通して地域の歴史に触れるとともに、神奈川県警では110番通報の実際について学び、展示室の見学も行いました。真剣に話を聞く姿や自分たちの安全な暮らしについて考える様子が印象的でした。また、子ども宇宙科学館では、様々な体験活動を楽しんでいました。

4年生は、レインボープラザでの藍染め体験において、友達と教え合いながら丁寧に作業に取り組み、伝統的な技術のよさを体感していました。宮ヶ瀬ダムでは、実際に放流を見学し、その迫力に驚きの声を上げるとともに、水資源の大切さについて理解を深めていました。愛川公園での学年レクでは、声をかけ合いながら協力して活動する姿が見られ、学年としてのまとまりも一層感じられました。

当日は、子どもたちが自分で考え、時間や約束を意識しながら行動しようとする姿が多く見られました。校外での体験を通して得た気づきや学びは、今後の学校生活や日々の学習にもつながっていくものと考えています。